

クラス道徳

「紙芝居」

あらすじ

ユリ子は文芸部。6人の部員で楽しく活動をしています。ある日、地域の子供たちのために

紙芝居を上演してほしいという話が来ました。紙芝居サークルの方が、数日前の書評コンテストを見て、文芸部の話がすばらしかったからだといいます。ユリ子は乗り気でないのですが、全員で参加することになります。当日、紙芝居だけでなく、会場づくりや幼い子供たちの案内、お菓子配りなども任せられ、てんてこ舞いでしたが、紙芝居を見に来た人に楽しんでもらいたいという気持ちになっていきます。上演では子供たちが目を輝かせ、大きな拍手をしてくれました。サークルの方々も本当にうれしそうで、ユリ子やみんなは、来月も活動をしたいと思うのでした。



紙芝居のボランティアに
参加することになった
ユリ子は
どんな気持ちだろう？

紙芝居の上演が終わり、
ユリ子がすがすがしく思ったのは
どうしてだろう？

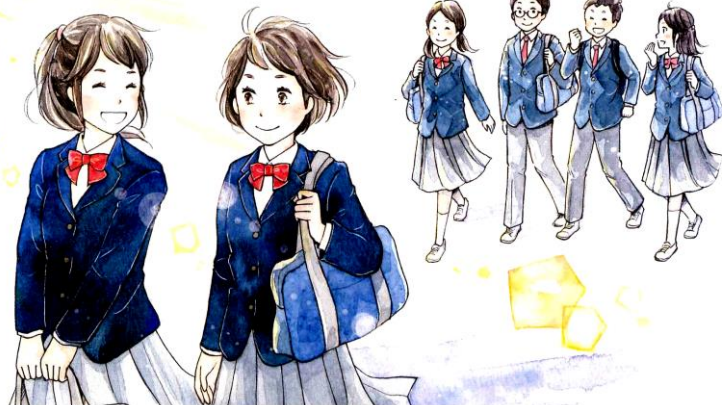


ユリ子の心情は

どのようにして変化したのだろう？

ユリ子たちがボランティアで
得たものとは何だろう？

- ・達成感
- ・感謝の気持ち
- ・自信
- ・挑戦する気持ち
- ・人の役に立つ喜び
- ・子どもの笑顔
- ・本気でやる面白さ
- ・人を喜ばせることはうれしいし、楽しい
- ・決めつけは良くないこと
- ・やりがい
- ・社会参画



<みんなの感想>

- 私は小学校の頃、川のゴミ拾いのボランティア活動があって参加したのですが、最初は疲れるとユリ子みたいだった。でも、友達と一緒に拾っていて、すごく楽しいと思えるようになった。絶対色々なことに挑戦するべきだと思いました。だから、また、部活動でも、ボランティア活動を積極的にやりたいと思いました。(Yさん)
- ボランティアは最初はめんどくさかったりするけれど、ボランティアに参加することで、新たな出会いが会ったり、達成感ややりがいもあったりすると思いました。ボランティアに参加するには、少し抵抗があるけれど、人のためになると思うし、何よりも自分のためになると思ったので、参加できたらしてみたいなと思いました。(Iさん)
- 初めは嫌だと思っている気持ちがあってもやってみないと分からないし、やってみると気持ちも変わると思うし、やってみないと分からない達成感ややりがいを感じれるものもあるから、初めから嫌と決めつけてやらないのはダメだなと思いました。だから、機会があったらボランティアしてみたいと思いました。(Rさん)
- 私も小学生の時にボランティアをしてやって良かったなと思ったし、人が笑顔になるし、やっぱり達成感を感じるなと思いました。(Sさん)
- 参加せずに逃げることで参加することによって味わえる楽しさや自信の大きさは違ってくると思うから、まずは挑戦することが大事だなと思いました。(Tさん)
- 人の役に立つことで達成感を得られるし、やりがいを感じて、これからは頑張ろうと前向きにな気持ちになって、正の連鎖が続いていくんじゃないかと思いました。私もこれから頑張って人の役に立てるようになりたいと思いました。(Oさん)
- 何事でもやってみないとわからん!! 自分が苦手なこともやれば何か得るものがある。(Kくん)
- 今日の授業で思ったことは、たとえ自分がやりたくないと思っても、実際やってみれば自信がついて、やりたくなるんだと思いました。(Oくん)
- 今日の授業で、人の役に立つことをしたら、相手も自分も笑顔になれると思ったし、その様な人になりたいと思えた。(Kくん)
- 今日の授業で、始めはイヤでもやってみないと分からないことがたくさんあるということが分かった。だから、自信がなかったり、チャレンジできていなかったりしたことにも、どんどんチャレンジしていきたいなと思った。(Yくん)
- やって見たら楽しかったことは、やりたくてやったことよりも達成感が出ると思うし、長く続くと思う。そういう経験があったら、いろんなことに挑戦できるきっかけになると思った。
(Eさん)
- 最初は全くやりたくなくても、挑戦してみると、意外と人の役に立てて、人を見つけられると思った。その行動がきっかけで得るものも大きいと思うから、挑戦するのはいいことだと思う。
(Iさん)

私はやります

この先に……

誰に何と言われようと

誰も何も言ってくれなくても……

私はやります

(宇宙兄弟より)